

2121/11/10

アスパイア

難羽康博

演題：CAD/CAMによる変革の現状を知って今後を考える

抄録：

昨今の歯科界におけるCAD/CAMの進化・展開は驚くべきものがあり、これは歯科技工史上最大の変革です。現在の社会のデジタル化情報社会化はイギリスで起こった産業革命以上のものです。

この流れの中で、積極的に設備投資するラボもあれば、CAD/CAM化を避けるがごとくアナログ技工を続けているラボもあります。それは個人の技工士としても同じです。

口腔内スキャナーによる印象が保険適応になる噂がありますが、実際にそうなった場合、アナログのみのラボはどう対処するのでしょうか？

CAD/CAM化・デジタル化の高波の中で、「では、どの機種を買えばいいのか？」と問う前に、現状はどうか？変革の本質（パラダイムシフト）は何なのか？を認識する必要があり、これを踏まえて、「今後どうしたらいいのか？」を考えるべきだと思います。

皆様の今後の指標となれば幸いです。